



#### 【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	・自然公園区域図や希少野生動植物の分布図などの環境情報を集約し、地図上に重ねて表示することが可能な「環境地理情報システム」を整備した。一般公開により県民の自然環境の保全意識の向上が図られた。 ・「第2次生物多様性おおい県戦略」を策定し、今後5年間の目標や基本方針を明確化したことにより、県民の生物多様性保全への理解を深めた。
②	・県営都市公園(大分スポーツ公園・ハーモニーパーク)の里山・竹林を活用して自然体験活動や環境学習の機会を提供することで、県民参加による里山・竹林の再生と、県民の自然環境保全への意識を醸成した。(参加者数 2公園計581人)
③	・温泉法に基づく掘削や動力装置の許可について、適正に処分を行った(件数:掘削及び増掘許可79件(うち地熱発電22件)、動力装置許可37件)ことにより、温泉資源の保護と利用の両立が図られた。 ・温泉行政の基本方針を示す新たな計画として、「おおい温泉基本計画」を策定したことで、有限資源の持続可能な活用に向けた環境整備が図られた。
④	・日本ジオパークに認定された姫島村・豊後大野市のジオパーク活動が持続可能なものとなるよう、ジオパークの情報発信や研究者等の誘致、両ジオパークの取組に対する助成を行った。これにより、本県のジオパークの認知度が高まるとともに、案内看板の整備やジオガイドの養成など、受入体制の整備が促進された。

#### 【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(27年度事業)	事業コスト(千円)	事務事業評価		主要な施策の成果掲載頁
			総合評価	28年度の方向性	
①	おおいた生物多様性保全・普及啓発事業	27,977	A	継続・見直し	71
②	中山間地域等直接支払事業	1,760,361	A	継続・見直し	153
	農業農村多面的機能支払事業	895,751	A	継続・見直し	154
	(公)海岸保全事業(河川)	199,440	—	—	160
	(公)港湾環境整備事業	74,489	—	—	161
	県営都市公園里山利活用推進事業	4,921	A	継続・見直し	162
	県営都市公園施設整備事業	171,007	—	—	163
④	おおいたジオパーク推進事業	39,000	A	継続・見直し	72

#### 【VI. 施策に対する意見・提言】

<p>○第1回「安心・活力・発展プラン2015」推進委員会 (H27.12)</p> <p>・新たな仕組みづくり(クラウドファンディングによるトラスト活動など)や情報の収集、ネットワークづくりなど、NPOへの支援などをしっかりと組み込んだ体制づくりをお願いしたい。</p>	<p>○第2回「安心・活力・発展プラン2015」推進委員会 (H28.2)</p> <p>再生可能エネルギーの取組は大事だが、「推進」と「環境保全」とのバランスを意識して取り組むべき。開発にあたり先祖代々守られてきた土地や自然環境がないがしろにされることを危惧している。豊かな自然環境の中に無機質な人工物が増えていくことが、本当に良いことなのかも考えることが必要。</p>
--	--

#### 【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・NPOと協働し、生息・生育地の調査・整備や外来種の駆除など、希少野生動植物等の保全を戦略的に実施する。</li> <li>・クラウドファンディングを活用したNPOの活動支援やトラスト活動をはじめとする環境保全の手法など、新たな環境保全の仕組みを検討していく。</li> <li>・特定外来生物が定着している地域において、地域で取り組む防除体制の構築を支援する。</li> <li>・地熱開発地域において温泉のモニタリング調査を行い、周辺泉源に与える影響を調査・公表することで、温泉資源の保護と適正利用を推進する。</li> <li>・環境情報の情報提供や自然保護に関する普及啓発などに「環境地理情報システム」を活用する。</li> <li>・H29年の日本ジオパーク再認定審査に向け、姫島・豊後大野両地域の取組を支援するとともに、県民の認知度向上を図るため、啓発イベントを開催する。</li> </ul>